

The Art of Harmonic Revolution

自分自身に革命を起す3つの方法 ― すべてを調和し喜びを創造しよう

1. 自然音 空間を快適にする *Harmonic Ambience* ― 心と体に自然のリズムを取り戻す
2. 体感音響 体内環境を整える *Harmonic Massage* ― 体が喜ぶ細胞レベルのマッサージ
3. 呼吸と声 高次元の響きに共鳴する声 *Voice Prayer* ― 見えない力への架け橋

自分を敬い、生命を尊び、自然に感謝

サウンドヒーリング協会 / The Society For Harmonic Science 2001年3月設立

【会 長】中村 泰治 *Yasubaru Nakamura* (昭和大学名誉教授、理学博士)【理事長】喜田 圭一郎 *Keiichiro Kita* (株式会社ジョイファンデーション代表取締役)

【理 事】Stan Altman (Ph.D.Baruch College NewYork 元学長)

上野 圭一 *Keiichi Ueno* (翻訳家、日本ホリスティック医学協会名誉顧問)長内 博雄 *Hiroo Osanai* (学校法人武蔵野東学園 武蔵野東教育センター前所長)河野 渡 *Wataru Kono* (河野デンタルクリニック院長、歯学博士)西條 一止 *Kazushi Nishijo* (国立大学法人筑波技術大学 名誉教授、医学博士)

【監 事】坂本 考司 (税理士法人 アゼット総研代表取締役)

【アドバイザーブレイン】(五十音順) Advisor

Daniel Akaka Jr. (ハワイ伝統文化継承者)、合田周平 (電気通信大学名誉教授 工学博士)、有田秀穂 (東邦大学名誉教授 医学博士)、池川明 (池川クリニック産婦人科・内科 医学博士)、犬塚雄大 ((株)アールグラン・コーポレーション代表)、岩本耕太郎 (内科医、帝国クリニック院長)、雄谷紀子 (知的障害施設仏子園元園長)、大山孜郎 (耳鼻咽喉科、医療法人大山医院、医学博士)、奥健夫 (工学博士、意識情報研究所)、長田夏哉 (田園調布長田整形外科院長)、神山純一 (作曲家、編曲家)、衆形亜樹子 (チェンバロ奏者、東京藝術大学講師)、小山一英 (一級建築士Kファイルズ代表)、小松明 (体感音響研究所主宰)、作左部紀子 (獣医師)、信田広晶 (心療内科しのだの森ホスピタル理事長)、下雅意巖 (元東洋メディアリンクス(株)代表取締役会長)、杉本英夫 (桐蔭横浜大学教授、医学博士)、橘秀樹 (東京大学名誉教授、工学博士)、高橋全 (作曲家、編曲家)、田畑晃 (田畑眼科医院院長、工学士)、銅金祐司 (東京藝術大学先端表現科非常勤講師)、内藤平 (弁護士)、中村鶴城 (琵琶奏者)、Ronald L. Peters (MD.MPH Mind Body Medicine Center, AZ)、Chikako Hoshino (Academy of SMART Therapy)、本道佳子 (和ビーガンシェフ・NPO法人・国境なき料理団代表)、松下裕子 (ストレスケア研究会代表、医学博士)、間山真美子 (和なごむ皮ふ科クリニック院長)、森千鶴 (鍼灸師、キネシオロジスト、植物療法師)、矢部多加夫 (やべ耳鼻咽喉科院長・医学博士)、山口宣夫 (元金沢医科大学大学院教授・医学博士)、山本健一 (サウンドクリエイター)、湯川れい子 (作詞家、音楽評論家)

【賛同者】(五十音順) Advocate

Constantin Ailioaie (MD.PhD)、小川圭一 (企画音楽プロデューサー)、大塚めぐみ (ウィーン国立音楽大学教鞭、ピアニスト)、Robert Gallery (HB Playwrights Foundation)、川岸宏吉 (音楽家)、龍村ゆかり (映画ガイアシンフォニープロデューサー)、Amy Tanaka (ハワイ島在住)、所れい (RHI Healing Harp Center代表)、Francois Du Bois (Composer)、中山一郎 (理学博士)、水野圭一郎 (工学博士)、三井石根 (医学博士)、本山博 (文学博士)、葉祥明 (絵本作家)

2019.1 現在

長年にわたり活動を応援頂いた勝木道夫先生(勝木グループ代表、医学博士)が2019.1 永眠されました。心から感謝し、ご冥福をお祈り致します。

サウンドヒーリング協会 設立趣旨

音は大きな潜在力を秘めています。古代ギリシアの哲学者たちはこのことを踏まえ、生命に対する畏敬の念と倫理的な責任感を持ち、音楽を選び、音楽を心と体の調和、自然や宇宙との調和、また精神性を高める目的に使っていました。

音は振動として人の心とからだに働きかけ、生理的反応を引き起こします。心に深いやすらぎをもたらし、生きる喜びをも生みだします。音に秘められた力を様々な分野に広め、音で人類の進化と発展に貢献することを目指してサウンドヒーリング協会は設立されました。

目的

私たち人間は地球の様々な生命によって生かされており、人間もその他の生命(動物、植物、微生物など)も地球を構成する大切な一員であると考えられる。このすべての生命を尊重し、音とその体感音響の力を使って、地球上のすべてのものが調和し、世界がより平和になることに貢献することを目的として活動を行う。

2019

グッドバイブレーション

Infinite Harmony

協会誌 No.28&29合併号
2019年1月発行編集発行 サウンドヒーリング協会
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-9-4-201
tel : 03-3441-6796 fax : 03-3441-6929
URL : http://www.sound-healing.jp
e-mail : info@sound-healing.jp表紙イラスト「道」 葉祥明
レイアウトデザイン 犬塚 雄大

初めてのHealing Vibration(体感音響サウンドヒーリング)体験は2001年末順天堂大学医学部のゼミナールでした。当時私は、東京大学医学部保健学科を卒業し、資生堂研究所入所後米国で免疫学を学び、東大にて学位取得後、順天堂大学衛生学教室の協力研究員(現)で東邦大学地域看護学の教員でした。その後、山梨、京都、埼玉などで看護・保健教育に従事後、ストレスマネジメントの研究をしています。

1990年代以降、医療実践ではEBM(Evidence-based Medicine根拠に基づく医療)という、看護・医療行為の有効性(患者の情動の変化など)を主観的評価から数量的・客観的に評価する事が標準となりました。量的研究では、ランダム化比較試験をエビデンスの水準の頂点とした疫学研究を中心に判断する事でした。看護行為などの介入効果を数量的に測定するために、個人及び集団・社会への働きかけをストレスマネジメントと位置づけ、1999年より唾液中コルチゾール(S-Cor.)を測定し、疫学的に評価する方法を標準化しました。コルチゾール(Cortisol)は人体の主要な糖質コルチコイドです。ストレスを受けて視床下部より副腎皮質刺激ホルモン分泌ホルモンが分泌される事によって生じ、時には平常の10倍になります。尿中や血液中のコルチゾールも測定可能ですが、尿中のコルチゾールは肝臓による代謝産物由来が多く、血液中コルチゾールは採血による侵襲を伴います。唾液中のコルチゾールは、100%ストレスによって分泌される遊離コルチゾールであり、侵襲も少なく、様々な場面での検体採取が可能です。

サウンドヒーリングの水琴窟のような音に惹かれ、喜田理事長の御提案を受け、2002年より大学生、看護師、化学療法受療者、患者会会員、企業等様々な対象を評価しました。プレテスト実施時、音楽と振動体の設定法調査では、専用CD「音楽」以外のヒーリングミュージックを装着した学生がそのミスマッチに「気持ちが悪い」と飛び起きたのも懐かしい思い出です。いずれの場合も使用前後でS-Cor.値は統計的に有意に低下していて、ストレス軽減に有効でした。肺がん末期で呼吸に苦しみ、振動体を背部に当てることにより、自発呼吸を促した方は最後までサウンドヒーリング機器器機を愛で、家族もその効果に感謝されました。なお、術後や疼痛管理時には、振動体未使用・「音楽」CD傾聴のみでも苦痛の緩和や入眠に有効でした。特に、ストーマ装着時の振動体使用は中止後48時間腸蠕動が継続し、使用者は不眠と腹痛に悩むため傾聴のみの適応です。

これらは、非ランダム化比較試験、相関研究、ケース・コントロール研究等であり、目的に従ってデザインした結果です。なお、私自身入院中には「音楽」CDを病室で使用し、セルフヒーリングとポジティブシンキングで乗り切りました。これからのストレスマネジメントはポジティブ感情の適応を拡張し、その検証には分子生物学との連携など新しい展開も期待されます。

サウンドヒーリング協会
アドバイザー
ブレイン 松下 裕子

＜松下裕子 プロフィール＞出生地は京都、現在鎌倉在住。東京大学医学部保健学科卒業、米国ウイスコンシン大学大学院理論免疫専攻、東京大学医学博士。資生堂研究所皮膚科学研究室所属、横浜市区にて地域医療従事、東邦大学・山梨県立大学・京都橋大学・東京家政大学等にて地域看護・公衆衛生学・ヘルスケアシステム教授。神奈川がんセンター臨床研究所・聖路加ライフサイエンス研究所・山梨県権利擁護等推進委員等元委員。保健文化賞・第一生命賞・NHK厚生事業団・厚生労働大臣表彰等受賞。現山梨科学アカデミー会員、順天堂大学医学部衛生学教室協力研究員、ストレスケア研究会代表。

